

月刊島民

中之島

Vol.58 2013 5/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



ナカノシマ大学

「イチから学ぶ、
昆布塾!」

喜多條清光

申し込み受付中!



モグーニブ
グーニブ
中之島



中之島の朝と言えば… 淀屋橋の通勤ラッシュ

「市民が最も魅力を感じている橋」調査では堂々1位に輝く淀屋橋。毎朝、7時から8時半頃にかけては、駅の出口から中之島へ向かう人や、梅田から本町方面へ向かう人などがひっきりなしに通り過ぎる通勤ラッシュ。全長53.5mという短さのため、あっという間に通り過ぎてしまうが、たまには足を止めて途中のバルコニーに立ってみよう。朝日に輝く川面が目飛び込んでくるはずだ。



グッド モーニング! 中之島

実は多くの島民が気づいていることだが、中之島で一番気持ちよく過ごせるのは朝。特に晴れた日の朝などは抜群に気持ちがいい。過ごしやすくなった初夏のこの季節、いつもより早起きするもよし、休日に出かけるのもよし、中之島の朝を楽しむヒントをご紹介します。

写真／浜田智則

さっさと出かけよう!

おはようございます!

中之島の朝と言えば…

京阪電車5000系の5ドアが全開

京阪電車の通勤用車両5000系は、通常時は3ドアながら、ラッシュ時にはシートの一部が天井の位置まで上がり、ドアが5つになるという驚きの構造。満員の車両のすべてのドアから、意気揚々と働く島民たちが降りてくる光景は、中之島の朝の名物と言える。みなさん、今日も1日ががんばってくださいと、送り出しているかのような5000系の5ドアである。



朝ヨガ yoga



1日の始まりは川辺で健康づくり。 足の間から中之島をのぞく。

「はい、魚のポーズ!」。芝生に敷かれた色とりどりのマットに寝そべる人々を眺めながら、天神橋を渡っていくサラリーマンの群れ。ちょっと不思議なこの光景が、定番になりつつある。

インストラクターの数珠孝さん自身、かつては会社勤めの毎日だったが、疲れていく周囲の人を少しでも癒せればと、家業だったヨガ指導について改めて勉強することに。だから、「普段はスーツのお腹が出たおじさんにこそ、ヨガを楽しんでもらいたい」。2011年、北浜に生活ヨガ研究所の教室を立ち上げると同時に、目前に広がる中之島公園でもアウトドアヨガを開始。朝の日光を浴び、風に吹かれてのびのび行う開放感が受けて、ファンも急増中だ。

リバーサイドヨガ

毎週土曜に加え、この4月からは水曜にも中之島公園で開催。飛び込み大歓迎の8:00AM~のレッスンは1回60分500円。ヨガマットのレンタルは+200円で。午後のクラスは季節によって変動。☎06-6949-3553(生活ヨガ研究所) http://seikatu-yoga.com/river_top.html



いつの間にか、こんなことになってます。

朝こそ、水辺へ。

取材・文/江口由夏 大迫力(本誌)



遮るものがない早朝の川面を散歩。 オフィス街の朝の表情を眺めてみる。

水面に浮いたボードの上に乗って、パドルを漕いで川を移動するパドルボード。陸を歩くのと変わらないゆったりとしたスピードで進み、まさに水上を散歩する感覚だ。海外で人気が出たこの水遊びが中之島の登場したのは2008年だが、ここ3年ほどですっかり人気となり、風景の一部に。出社前に参加していく女性も多く、熱いリクエストに応え、中之島を1周できる経験者向けコースも実現。

まだ少し朝焼けが残る空の下、川面は穏やかで、幅広い道のような。もともと水中カメラ専門店のオーナーだったインストラクターの奥谷崇さんは、「川から陸の写真を撮ってみたいから楽しそうだと始めたことが、川のゴミ拾いや健康づくりへつながっているんです」と話してくれた。

水上さんぽ

ほぼ毎日9:00AM~と11:30AM~の2回開催。経験者のみ6:30AM~の回に参加可能。レンタル料など込みの参加費は、90分3,500円(初回のみ4,000円)。子ども向け(中学生以上)の体験会を開くことも。スケジュールの確認や予約は☎06-6125-0550(アクアスタジオ) <http://aquastudio.jp>



朝散歩 padol board



ス。なかなかゴージャスだ。晴の土曜日。折しも桜は満開、沿道の桜並木は川へ溢れ出すように咲き、小船はその真横を通り過ぎていく。気のせいかな、岸辺からの眼差しに羨望が込められているような。「ぜひ体験してみてください」という気持ちを含め、船上から笑顔で手を振り返してみる。

大阪城や泉布観、中央公会堂などの大阪名所が現れては消え、景色が移り変わっていく。大阪へ初めて訪れる友人に案内してあげるにはちょうどいい、



朝クルーズ cruise

週末の朝だけ就航。
「御舟かもめ」の朝ごはんクルーズへ。

民読者にとってはおなじみの「御舟かもめ」。人気の朝ごはんクルーズに乗ってみた。9時20分の出港5分前に八軒家浜船着場へ向かうと、今回一緒に乗るご家族7名がすでに勢ぞろい。定員10人の小船にとっては満員御礼だ。お楽しみは何といつても八軒家浜沿いのカフェとコラボした朝ごはん。天然酵母を使ったパン、柔らかな葉が彩りよく盛られたサラダ、ころんとした瓶が可愛いアップルジュ



中央卸売市場のお膝元、 立地を活かした遊べるマルシェ。

大阪市中央卸売市場の目の前、川沿いの遊歩道に屋台がずらりと並ぶ。野菜や果物、魚といった新鮮な食材が買える店もあれば、焼きそばや唐揚げなど、買い食いできる店も多い。また、鍋料理や炭火焼きなど毎回テーマを設け、参加各店が自慢の食材を料理して販売するといった趣向も。イベントも盛りだくさんで、市場で行われている競りの体験や北浜のレストラン「ル・ポンド・シエル」によるミニセミナーなど、長い時間過ごせる工夫が凝らされている。

さらに舟運会社とのコラボによって、ざこばの朝市特別クルーズが会場に隣接する船着場から発着。市場のお膝元+川沿いという立地を存分に活かした、現代版朝市と言えるのだ。

天下の台所 ざこばの朝市

食材を売る店や加工品、飲食店の屋台など常時25店ほどが出演。中央卸売市場の「まいどプラザ」で営業する店がブースを出す場合も。奇数月の第4日曜が開催日で、次回は5月26日(日)8:00AM~2:00PM(※雨天決行) ☎080-4426-7448(ざこばの朝市実行委員会事務局) <http://zakobanoasaichi.com>

[奇数月の第4日曜]



さばき立てのマグロに有機野菜、 有名水産会社が手がける新鮮市場。

目玉は、本まぐろの解体ショー。さばかれるのは、国内出荷数で有名な長崎・蚊焼で育ったブランドまぐろだ。主催は、回転寿司店経営で有名な大起水産。常務取締役の酒井泉さん自らがマイクを取り、一押しの質はぜひ舌で確かめてほしいと試食も惜しまない。お手頃価格で提供されるトロを、ここぞとばかりに買い込むお年寄りの姿も。「水産を活性化させたい一心で始めた朝市なので、儲けは二の次。だからといって、質を落とすのはもってのほかです」と酒井さん。大手水産会社のプライドが感じられた。

その他、近畿圏から集まった有機野菜や、近海で獲れた魚介も魅力的。天気が良ければ、屋外に設けられたテーブルで、朝から握り寿司をほおばる家族連れも見かける。5月はバーベキュー向けの食材、6月は新茶に7月はうなぎ市と、季節のお楽しみは更新されていく予定だ。

天下の台所 八軒家浜市

「川の駅」はちげんや内での屋内朝市は、昼過ぎには売り切れ続出。外のテントにも乾物などが並ぶ、食材に特化した朝市だ。毎月第1日曜が開催日で、次回は5月5日(日・祝)10:00AM~5:00PM(※雨天決行) 問い合わせ/大起水産 ☎0120-765-001 <http://www.daiki-suisan.co.jp/>

御舟かもめ 朝ごはんクルーズ

毎週金土日・祝日、9:20AM~10:20AMに運行中。大人3,000円、子ども1,500円。この他、夜景や巨大建築物を楽しむ変わり種クルーズも大人気。暖かくなると予約が取りにくくなるので、<http://www.ofune-camome.net/>にて予約必須。

満喫できた。朝ごはんクルーズは、大阪の朝市と違って、のんびりとした休日の朝を満喫できた。朝ごはんクルーズは、大阪の朝市と違って、のんびりとした休日の朝を満喫できた。

中野さんの「川に浮かぶ小さな舟」って感じが、華客船よりもずっと居心地いいわ」と向かいのお父さん。お隣のマダムも「特別な一日の始まりって感じがね」と感動。こちゃんまりとした食卓を囲み、大事な朝ごはんを共有できる乗り合わせの縁も小船ならではの魅力だ。持ち込みOKということで、マダムお手製のシークリームをいただく。クルーズ終わりには大きな拍手が。せっかくした平日の朝に代えて、のんびりとした休日の朝を満喫できた。



間違ったコースだ。「取材に来られたテレビ局の方が「船が進む早さは、大阪を眺めるのにちょうどいい」っておっしゃっていました」と中野さん。朝は大きな観光船が運航しないので波風立たず、小さな船でも揺れることなく、辺りをじっくり眺められる。屋根のないこげ茶色のウッドデッキは、朝の光が降り注ぎ、思い思いに足を伸ばすことができる。アクセントのように配置された大きな赤いクッションを背にして、せっかく早起きしたのに、ついこのまようつとり二度寝してしまいたくなる。



朝から！

神さん仏さん

取材文／大迫力(本誌)

出勤前に仏さんのお話はいかが？
毎月1日の朝の仏教講座」。

午前7時、太鼓の音と共に読経が始まる。北御堂こと本願寺津村別院では、毎日この時間に朝の勤行が行われている。実はこれには誰でも列席することができ、実際スーツ姿で手を合わせている人も多い。ふだんは読経の後に短い法話が行われて終了するが、毎月1日は「朝の仏教講座」という1時間ほどの講座が開かれるとあり、参列者も一気に増える。

この講座が始まったのは10年ほど前。講演者のコーディネートを担当する佐々木善秀さんは、「いろいろな仏教視点の方に語っていただくことで、仏教との関わりをより増やすことができれば」と話す。浄土真宗の場合、布教使という専門職の人が話す機会が多いが、ここではそれにとられず、多様な個性を持つ僧侶に講座を依頼しているという。「二度と繰り返せない今日という日を迎えられたことに感謝して、仏さまに手を合わせて1日を始める。なかなかいいものですよ」と西川さん。ごもつともである。

この日は僧侶であり、日本高等学校野球連盟評議員でもある鹿多証道さんが登壇。野球の話や歌も交えた楽しい話で、わきあいあいとした雰囲気。



本願寺津村別院

朝の勤行には散歩がてらに訪れる外国人観光客なども多いのだそう。毎月1日(1月を除く)の仏教講座には、参列すると牛乳とパンがいただける嬉しいおまけも。一般の人を対象にした活動も多く、「職域布教と言って、会社へお邪魔して法話をさせていただいたりもするんですよ」(佐々木さん)。☎06-6261-6796

開門時間は夏季は5時半、冬季は6時。「朝一番に行くと、神社の人が掃除をした簀目が残っているんですよ」(清光さん)。ちょっと羨ましい。



お寺や神社には街なかとは違う世界が広がっている。清々しい空気が流れる朝早くに行けば、そのことをより強くできる。

開門と同時に参り。
天神さんに
毎日あいさつできる幸せ。

「もう40年ほどになりますかね。大阪にいる限りは毎朝お参りに行っています」と話すのは、大阪天満宮のすぐ近所で昆布の卸売業を営む「天満大阪昆布」の喜多條清光さん。奥様の啓子さんも、「朝、起きたら(笑)」一緒に境内を訪れる。本殿に参拝した後、北側にある祖霊社にも。「本殿には『今日も来られましたよ』という神さんへの報告、祖霊社には亡くなった両親たちへ『元気ですよ』というあいさつ。意識して続けているというか、行かへんかったら気持ち悪いんです(笑)」。

たった15分ほどのことだが、それが大切だと啓子さんも話す。「毎日行けると



本殿に続いて、すぐ北側にある祖霊社にもお参りするのが日課。喜多條さんによれば、最近、朝に参拝する人の数が増えてきているとのこと。

いうことは、日常生活が整っているということですからね。10年、20年と通ううちに、花にも咲く順番があり、四季によって風景が少しずつ変わることに気づいた。6月に入ればそろそろ天神祭の準備で境内が賑やかになるという。小さな変化に気づける生活というのは、けっこう幸せなことかもしれない。

「昼前から時間をかけて料理やコーヒーを楽しむ、`ブランチ、という西洋の食文化を知ってもらいたい」とグランシェフの永山康史さんがはじめた土・日・祝限定のブランチ。自家製の焼きたてクロワッサン、キャビアやトリュフがのった卵料理、特選ハムなど贅沢な内容でいつもとは違う朝を演出する。「美術館に行くように、ブランチ目当てに中之島へ」とシェフ。フェスティバルタワー移転を機に始まった名店渾身の新たな試みが、休日をさらに豊かに。

休日を極上にする 週末限定ブランチ。 ●レストランアラスカ フェスティバルタワー



土・日・祝限定のブランチは2,500円。11:00AMからオーダー可(限定20食、1名から予約可)。☎06-6222-1800 ランチ11:30AM~2:00PM (LO) カフェタイム2:30PM~5:00PM ディナー5:30PM~9:45PM(LO) 無休
※写真は2名分

「モーニング」のある風景。

取材・文／李 宗和

朝の楽しみの一つは喫茶店のモーニング・セット。
と言っても、今やその内容はいろいろ。
だからこそ楽しい、中之島のモーニング事情をレポート。



朝から主役を張る、 名喫茶のホットケーキ。

●丸福珈琲店 中之島ダイビル店

千日前で昭和9年(1934)に創業した老舗喫茶店の支店が中之島ダイビル1階に。初代が試行錯誤して考案した特製のドリッパーを使い、熟練の職人が時間をかけて淹れる濃厚で芳醇なストロングコーヒーはこちらでも変わらず味わえる。自家製のホットケーキも有名で、注文が通ってから1枚ずつ特製の銅板で10分ほどかけて焼くのも同じ。手間暇かけた、やさしい甘さのホットケーキはコーヒーなどと一緒にモーニングセットとして注文できる。

写真のホットケーキのセット(550円)のほか、数種類のモーニングが楽しめる。モーニングは11:00AMまでオーダー可。☎06-6225-2202 7:30AM~8:30PM (土・祝日10:00AM~6:00PM) 日曜休



カートで参上!

中央卸売市場の
男たちの朝を和ませる、
手づくりパン屋さん。



早朝（というか深夜）から忙しく働く男たちの声が響き渡る大阪市中央卸売市場で、朝からパンを売り歩く女性たちがいるらしい。その正体は、一般向けの買い物ゾーンであるまいどプラザ3階にオープンしたブーランジェリー「グランジュテ」のスタッフのみなさん。オーナーの清水さん曰く「店は梅田エリアなどで移動販売をするための工房として利用するつもりでしたが、パンを買いに来る人がいたのでカート販売もはじめてみました」。

最初はあまり売れなかったが、笑顔で挨拶をするなどの努力で、いつの間にか市場の朝のアイドル的存在になり、今や一回りするだけで100個以上売れるようになったそう。一仕事終えた男たちが、笑顔でパンを頬べる姿は、なかなか見られない風景だ。



グランジュテ

工房でも販売されるパンは、毎朝25種・50円から揃う。「朝とはいえ市場感覚では昼。本当はハード系のデニッシュなどを売りたいのですが、腹持ちのよい惣菜系のリクエストが多くて（笑）」とここならではの悩みも。☎06-6468-5524 7:00AM~5:00PM 日・祝休



毎日でも通える、
老舗のラインアップ。

●MJB珈琲店

アラビアン、プリティッシュ、ウイナナーと、曜日ごとにコーヒー豆とスタイルが変わる「七色の珈琲」で有名な純喫茶。500円から揃うモーニングも6種類と豊富。追加メニューがあったり、毎日通って飽きないように工夫されている。場所柄、周辺の銀行などに勤めるサラリーマン客で、昭和の頃には毎朝行列ができるほど忙しかったそう。今の形になったのは10年ほど前だが、ずっと働く島民の朝ご飯の要望に応え続けてきた結果なのである。

胚芽トーストを選べたり、プラス50円でヨーグルトやサラダなども追加できる。モーニングは11:00AMまでオーダー可。☎06-6203-0078 7:30AM~10:00PM（土曜8:00AM~6:00PM、祝日9:00AM~6:00PM）日曜休



意外に食べ応えアリ、
「ケーキ・サレ」。

●ULTRA 2nd

土佐堀通沿いにある紺色のタイルが渋い中川ビルディングで営業。店内ではギャラリー、セミナーなども行い、飲食を超えて街と関わり、ナカノシマ大学の会場になったことも。4月から新しくモーニングメニューに仲間入りしたのがこのケーキ・サレのセットだ。ケーキ・サレとはフランス料理で砂糖を使わない、チーズと塩の風味が効いたケーキのこと。ケーキのような見た目以上に食べ応えがあり、女性だけでなく男性にもおすすめ。



ケーキ・サレとコーヒーのセット500円。ホットドッグやトーストのセットもあり。モーニングは10:30AMまでオーダー可。☎06-6949-8804 8:00AM~8:00PM（土曜9:00AM~）日・祝休



ご飯に味噌汁、焼き魚といった王道の朝定食だけでなく、コーヒーにゆで玉子、サラダなどが付くトーストのセットもあり。☎06-6208-8777 9:00AM~4:30PM 土・日・祝休

ごはん党の人は
大阪市役所へ。

●大阪市役所地下2階食堂 オステリア

大阪市役所の地下2階の食堂は、実は一般の人でも利用できる。安くて量のある日替わりのワンコインランチだけでなく、朝9時から11時までは380円で朝定食が食べられる。ちなみに、200席ある広大なスペースはお昼どき満員になるが、スタッフさん曰く「朝は出るのは20食くらい。空いてます（笑）」とのこと。出勤前というのはちょっと難しいかもしれないが、得意先回りの前に落ち着いて朝ご飯を食べるのもいいかもしれない。



硬軟織り交ぜ、掘り下げる。

午前3時に起きてストレッチ、シャワー、朝食。4時半に局に入り、新聞を全紙広げて、5時から今日取り上げるニュースや話題の打ち合わせ。そして6時半からオンエア。阪神が勝てば意気揚々と六甲おろしを歌い、負ければスポーツ紙をスタスタに破って嘆く(笑)。…というのが、僕の毎朝のスケジュールです。

取り上げる話題は、健康・医療、時節の事柄や風物、経済関係なら税金とか家電の話とか、身近なものが多いですけど、たとえば今日は北朝鮮情勢についてしゃべりましたし、アベノミクスの展望を経済アナリストに聞いた

たりもした。リスナーの平均的な関心がどこにあるかを意識しながら、硬軟織り交ぜてますね。

昔の朝のラジオは時計代わりで、番組も細切れでしたから、一つ的话题を掘り下げてしゃべる番組は珍しかったんです。リスナーの調査依頼を受け

ABCラジオ「おはようパーソナリティ」
道上洋三さんに聞く

中之島から 朝を告げる仕事。



朝の食卓へ、通勤の車へ、喫茶店へ。
今年で36年目、関西の朝を告げる長寿ラジオ番組は、
今日もほたるまちから発信中。名パーソナリティ、
道上洋三さんに聞いた朝とラジオと中之島の話。

取材・文／松本 創(本誌)

て番組が調べる「探偵! ナイトスクープ」方式も、うちの番組が原点やと自負しています。

阪神・淡路大震災が転機に。

36年目に入った番組で一番の思い出といえば、1995年の阪神・淡路大

に移ったリスナーからは「ラジオをつけると、いつもの普通の生活が戻ってきました」とメッセージをいただいた。番組は自分のためじゃなくリスナーのためにある、だから自分ではできる限りしゃべり続けなアカんと、あの時の心の底から思いました。震災がなければ

震災。僕自身の仕事観にも大きな影響を与えてくれた出来事でした。

生き埋めになった独り暮らしのおばあさんが傍らにあったラジオの音で救出され、「私の命の恩人は道上さんや。遠くの親戚より近くのラジオやなあ」と言ってくれた。避難所から仮設住宅

ば、20年ぐらいで番組をやめていたでしょう。

「心の春夏秋冬」を届けたい。

僕は34歳から番組を担当し、先日、70歳の古希を迎えました。毎朝同じように「おはようパーソナリティ道上洋

三です!」と言ってるつもりでも、日々の体調や気分が良し悪ししがリスナーには伝わるらしく、「今日は元気ないけど、どないしたん」と時々言われたりします。でも最近は、自分の身体の中にある、いわば「心の春夏秋冬」を大事にしたいと思うようになってきました。

13階にあるスタ

ジオの窓からは手前に中之島の風景、向こうに山が望めます。以前のスタジオは、窓から外が見えにくかった



ので、今の社屋を新築する際に、東南の角部屋にして、外が見えやすい窓もほしいと強く希望したんです。朝の光や街の様子を見ながらしゃべると、気分的にも、話の広がりも全然違いますから。毎朝の食卓にコーヒーとパンがあるようにラジオがある。ご飯とみそ汁があるように道を横に置いてもらえる。そんな朝の音の風景を、これからも中之島から届けていきます。

「おはようパーソナリティ 道上洋三です」

(月曜～金曜、午前6時30分から9時)
昭和46年(1971)4月に中村鋭一氏でスタート、昭和52年から道上さんが引き継ぎ、昨年35周年を迎えた朝のワイド番組。関西ナンバー1の聴取率を誇る。道上さんは昭和40年(1965)、中之島の新朝日ビルにあった当時の朝日放送に入社。大淀への移転を経て、現在のほたるまちまで、3代の社屋を知る最古参社員。中之島の変遷を見てきたベテラン島民でもある。



今年のテーマは中之島

5/22まで、受験申し込みを受け付け中！

大阪検定を遊べ。



なにわなんでも® 大阪検定

6月30日に実施される第5回大阪検定は、5月22日まで受験申込を受け付け中。今年のテーマは東洋のマンハッタン中之島。本検定の主催者である大阪商工会議所の会頭で、ご自身もこれまで大阪検定を受験されている佐藤茂雄氏に中之島の魅力などについて語っていただきました。なお、全国で数多くの商工会議所がご当地検定を実施していますが、主催者のトップである会頭自らが率先して受験している例は大阪ぐらいたと言われています。

——今年の大阪検定のテーマ「中之島」の魅力をお聞かせ下さい。

中之島に、蟬がどの程度いるのかが気になっています。と言うのも、中之島では、夏に蟬の鳴き声がたくさん聞こえるようになっており、自然が戻ってきている証だととらえているからです。

パリのシテ島を超えた(？)中之島。

私は中之島を「東洋のマンハッタン」と呼んでいます。文化施設も充実し

つつあり、パリのシテ島に匹敵するとも思っています。数年前、南仏ブローアンスに行った時「ここには蟬がいるが、パリにはいない」と地元の人

大阪商工会議所会頭 佐藤茂雄さんに聞く

大阪検定が、大阪のまちの楽しみ方を教えてくれる。

慢していました。近年、中之島には緑があふれ、蟬の鳴き声が聞こえます。都市の輝きと自然の癒しの双方の魅力を兼ね備えた場所としては、すでにシテ島を超えた存在とも言えますね。

先月10日にはリニューアルされたフエスティバルホールでこけら落とし公演が行われました。中之島に文化の拠点を再興しようとする関係者のご努力



1級合格目指して、わたしも頑張ってます。

には改めて敬意を表したいと思います。今後は、大阪市立近代美術館の整備などさらなる文化施設の充実を楽しみにしています。

中之島、島長が島ブランドの情報発信を！

これだけ魅力の詰まった中之島は、行政区を超えた存在。ぜひ島民のなか

ら島長を選任し、先頭に立って中之島固有のブランド発信を強力に進めてもらいたいと思っています。

大阪検定を受験されたことで、新たな発見はありましたか？

もちろん。大阪検定は大阪を知る上で非常に良い機会を提供してくれています。私も受験に際しては『大阪の教科書』をよく読みました。今年も1級を受験しますが、最難関に合格しようと思うと、歩いてでも、自転車でもとにかくまちを巡り、大阪を体感しなければなりません。近く、中之島を歩きながら、大阪の歴史や文化を改めて肌で感じてみたいと思っています。

最後に、受験者のお一人として今年の大阪検定に向けて抱負をお聞かせください。

私には、第1回で2・3級に合格し、その後一緒に1級を受験し続けているライバルがいます。そのライバルに先を越されないよう、また楽しみながら頑張りたいです。

大阪検定1級合格者・行俊良雄さんが伝授する

中之島の見どころと 大阪検定マル秘攻略法

大阪検定1級と言え、わずかな合格者しかない最難関。その中でも3回連続で1級に合格した、いわば大阪検定のことを知り尽くした行俊さんに、合格の秘訣と勉強法を紹介していただく。

其の一
「行俊流
わたしの勉強法」。

第5回なにわなんでも大阪検定のテーマは「東洋のマンハッタン中之島」ということで、この『月刊島民』の読者のなかにも何かと中之島に縁のある方も多いでしょう。大阪検定受験にあたっては次のことが大切です。

① 出題の概要を確認

まず、大阪検定の概要をしっかりと把握しましょう。3級（出題100問）では、教科書から80%程度、過去の問題からも50問以上出題されるというこ



とが明記されています。したがって、学習のツールは『大阪の教科書』と『大阪の問題集』を中心に進めましょう。問題集は既出問題と正解を集めたものです。1問ごとについていねいな解説がついていきますのでじっくりと読み込んでください。

② 現地に行ってみる

次に、教科書に紹介されている場所には実際に行ってみましょう。中之島は必須です。また歩きには、大阪国際会議場の受付などでもらえる「大阪中之島今昔案内」と



いう地図があれば便利です。

③ まとめて覚える

江戸時代の「三大市場」「浪華三大橋」など「三大」と数字でまとめられた人物、施設、橋が教科書にはよく出てきます。これらは大阪を代表する有名、かつ重要なものなので必ずまとめて覚えてください。

④ 裏ワザ

正攻法では教科書を読んでから問題を解きますが、裏ワザとして、いきなり問題集からはじめてみるのはいかがでしょうか。問題集で過去の問題と解説を読んだ後で、教科書を読むのもひとつの方法です。特に中之島周辺の問題については必ず押さえておきましょう。問題集に出てきたところを教科書にチェックをつけ、チェックが多いところは何度も出題されているところになりますので、そこを繰り返し読みましょう。

其の二
「ここだけは
押さえておきたい
学習ポイント。」

① 橋と川

二つの川にはさまれた中之島周辺の橋には、それぞれ歴史やエピソードが数多く残っています。特に江戸時代の

浪華三大橋（天満橋、天神橋、難波橋）は重要。また国の重要文化財に指定されている淀屋橋、大江橋、元は可動堰で、今は人道橋になった水晶橋、錦橋も過去に出題されています。

② 三大市場

江戸時代の中之島は日本の経済・流通の拠点でした。堂島米市場、天満青物市場、難波魚市場の三大市場に關しては出題も多く、地図中から市場の場所を選択する問題なども出題されています。また、それぞれの場所には碑が建っていますので、行ってみましょう。



天満橋北詰の南天満公園にある天満青物市場跡の碑



難波魚市場跡の碑（西区江之子島1-8）



ANAクラウンプラザホテル大阪南側堂島米市場跡の碑

其の二
さらに学習を
進めたい方へ。

①もう少し深く知る

大阪歴史博物館9階には中之島周辺の歴史（三大市場、蔵屋敷、橋など）がわかりやすく展示されています（平日9・00AM～5・00PM入室可）。さらに、2階の学習情報センター「なにわ歴史塾」では6000冊の図書が自由に閲覧でき、わからないことがあれば学芸員の方に相談できます。



大阪歴史博物館は地下鉄谷町四丁目駅9番出口すぐ。火曜日休館。

②中之島の西部

中之島の東部や淀屋橋周辺は人の往来が多く、近代建築もあり華やかな地域ですが、一方、西部・川口・江之子島の地域は一般的には馴染みの薄い地域です。しかし、実はそこに歴史的な



『泥の河』は後年、小栗康平監督で映画化された。

水都大阪を象徴する景観があります。2011年、中之島の西の端に近い湊橋の南詰に作家

の宮本輝の小説『泥の河』の文学碑が建てられました。この小説は昭和30年代前半の中之島の西の端あたりを舞台にした作品です。小説の書き出しの部分が碑に刻まれています。

「堂島川と土佐堀川がひとつになり、安治川と名を変えて大阪湾の一角に注ぎ込んでいく。その川と川がまじわるところに三つの橋が架かっていた。昭和橋と、端建蔵橋（はたてくらばし）それに船津橋である」

この川と橋がつくる景観を地図で見ると確かにそのようになっているのですが、碑のあたりから見てどうも実感できません。

③風景を一望できる場所

そこで、島の目で一望できるスポットをご紹介します。湊橋北詰近くの中之島センタービル（NCB）の31階のNCBスカイルームです。川と川が交わる光景はこれぞ「水都大阪」の景観です。現在、船の姿はあまり見えませんが、昭和頃までは多くの船が行き交っていた川の交差点だったのでしょう。

中之島の西の剣先・川口・江之子島には、江戸時代、明治期とつながって発展していく近代大阪の源がありました。この光景を見ながら、中之島や江之子島、川口、大阪市中央卸売市場の位置関係をしっかりと把握しておきましょう。



中央部やや下のとがったところが中之島の西の端。手前左の土佐堀川、右の堂島川が合流しており、さらに木津川（左上）と安治川（右上）に分かれ、共に大阪湾にそそぐ。

④歴史ある川口・江之子島

大阪開港の地・川口には現在その面影はありませんが、数々の碑が残っています。「川口居留地跡」「大阪開港の地」「川口運上所跡」の碑は歴史を知ることができる重要な手掛かりとして重要です。

また、江之子島は南北に長い楕円形の島で、現在は東の百間堀川が埋められており島にはなっています。津波・高潮ステーションが建っているあたりがかつての川跡です。この島には二代目の大阪府庁舎が建っていました。

中之島周辺のことについてはこの冊子「月刊島民」のホームページで第1号から最新のバックナンバーまで見ることが出来ます。是非チェックしましょう。



川口居留地跡の碑。かつては外国商人で賑わった。



なにわなんでも大阪検定想定問題集

やってみよう！

Q1. 中之島の西の端の端建蔵橋周辺を舞台にした小説『泥の河』の作者・宮本輝が受賞した文学賞は？

- ①直木賞 ②芥川賞 ③江戸川乱歩賞 ④織田作之助賞

Q2. 漫画家の手塚治虫は中之島に縁のある人です。どのような縁があったでしょう？

- ①生家がかった ②中之島の学校へ通学した ③大阪市立科学館へよく行った ④国立国際美術館によく行った

A1. ②芥川賞 解説: 昭和53年(1978)、31歳の時に「螢川」で第78回芥川賞を受賞しました。 A2. ②中之島の学校へ通学した 解説: 昭和20年(1945)大阪帝国大学附属医学専門部に入学し、医学の勉強をしながら漫画を描いた。学校は大阪大学中之島センターの場所にあった。①生まれた所は現在の豊中市。③よく行ったのは四ツ橋の大阪市立電気科学館、④もとは万博記念公園内にあり平成16年(2004)に中之島に移転して開館。

第5回 なにわなんでも大阪検定 ☆

なにわなんでも大阪検定とは… なにわなんでも大阪検定は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、様々な大阪の魅力を知っていただくことを目的とした検定試験です。講座やまち歩きなどを通じて大阪の魅力を知っていただく機会や合格者間の交流を深める場を提供しています。なにわなんでも大阪検定を通じて、大阪を知り愛する運動を推進し、大阪の都市ブランド向上を目指します。

●試験日

平成25年6月30日(日)

●会場

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス
常翔学園 大阪工業大学 大宮キャンパス
りそな銀行大阪本社

※1級受験者の会場は大阪府立大学のみです。

※2、3級受験者は受験希望会場を2カ所まで選択可能。

ただし、各会場の定員を超える希望があった際は抽選。

(受験会場は受験票にてお知らせします。)

●受験料

1級 5,500円 2級 4,400円 3級 3,300円

※団体受験の場合は各種割引制度もあります。詳しくはお問合わせください。

●申込期間

5月22日(水)まで申込み受付中

●出題範囲

大阪府域の「歴史」「文化・芸能」「産業」「食」「観光」「ことば」

「自然」「地理」「スポーツ」などの分野から出題。

歴史的事項から現代的事項まで幅広い知識・情報を総合的に出題します。

●公式テキスト

大阪の教科書 増補改訂版「大阪検定公式テキスト」
1,995円(税込・創元社発行)

●申込方法

①郵便振替での申込み

②インターネットでの申込み 大阪検定HPよりお申込みください。

③大阪検定取扱書店・府内のイオン16店舗での申込み

指定書店・店舗は受験要項、HPに記載

※団体でお申込いただく場合は下記までご連絡ください。

●お問合わせ

なにわなんでも大阪検定事務センター

☎06-6944-7728(平日10時～17時)

◎受験要項(申込書付)は、大阪商工会議所、大阪府、大阪市、堺市の関連施設、指定書店(51店舗)などのほか、新たにイオンリテール株式会社の協力により府内のイオン指定16店舗でも配布します。また、希望者には受験要項を郵送します。

大阪検定

検索

◎大阪検定今年のテーマ

東洋のマンハッタン“中之島”

～進化し続ける経済・文化・歴史の拠点～

いずれの級においても、本テーマに関する問題を15%程度出題します。「中之島とその周辺」の歴史、文化、経済、地理、また最近の動きに関わる事項等から出題する。まち歩きマップを入手するなどして、中之島とその周辺の魅力に直接触れてみてください。



大阪の人も
たくさん受けています!

大阪検定ファンの声

井上裕代さん(40代)
●大阪府出身
大阪信用金庫



私の勤める大阪信用金庫は、地域密着金融機関です。「大阪検定」の受験勉強を通じて「大阪を知る」ことは、信用金庫で働く者の必須の心得であるという考えから、多くの職員が受験しています。勉強を通じて大阪の歴史や文化を楽しむことができました。

都島区は毛馬閘門の近くに生まれ、天王寺区上町台地在住の生粋の大阪っ娘。検定受験で「素敵な大阪」を再発見。「ここはどここの交差点?」の写真問題に街並みを見る目も変わり、夫との休日ウォーキングの会話で弾むのが意外な大阪検定効果(!?)。5月は中之島バラ園に行きます♪

田中靖人さん(60代)
●大阪府出身
阪和興業株式会社



大阪生まれの大阪育ちですが、検定テキストを読むと新発見の連続でした。検定受験対策のため1日自転車で市内巡りをしましたが、受験後もクロスバイクを購入して興味ある場所を訪ねています。改めて大阪の素晴らしさを発見中です。

村上友子さん(40代)
●大阪府出身
丸紅株式会社



受験勉強を通じ、大阪は古都だということや、日本料理の多くは大阪料理だということなどを知り、驚きと感動を味わいました。大阪検定は、大阪を再発見する試験です。今回のテーマは中之島なので、ぜひ受けてみてください。



南田仁美さん(20代)
●大阪府出身



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

歴史&レシピを
教えます

◎今月の授業

【昆布】

2013年6月講座

「イチから学ぶ、昆布塾！」

講師／喜多條清光

([天満 大阪昆布]代表取締役)



今、話題の「昆布革命」の生みの親、
天満の昆布問屋の社長が伝授する、
大阪と昆布の深い歴史と、料理のコツ。



講師の喜多條清光さん。会社では羅臼昆布を中心に、原材料や加工品など多くの商品を扱う。講演や書籍の企画といった、昆布を広く知ってもらうための活動にも力を入れている。

NHKの朝の情報番組「あさイチ」でも特集が組まれるなど、最近話題の「昆布水」。料理に加えると旨みがぐんとアップするだけでなく、健康や美容にも良いと大評判になっている。この昆布水のために開発されたのが、「昆布革命」という商品。考案したのは、今月号の特集で大阪天満宮に毎朝参拝する良さを語ってくださった、昆布問屋「天満 大阪昆布」の代表取締役・喜多條清光さん（P5）。昆布の旨みが表面ではなく断面から出ることに注目し、厳選した昆布を1mmの細い短冊状にすることで、少量でも手軽に昆布水ができるように工夫した。これが大ヒットし、レシピ本が2冊発売されたほか、日本全国から講演や料理教室の依頼が相次いでいるようだ。

「昆布革命」だけでなく、昆布そのものや大阪でよく食べられるようになった

歴史にも詳しい喜多條さん。塩昆布や松茸昆布など昆布を使った料理は多く、だしにも用いられ、上方の食文化とは切っても切れない関係にある。よく口にするものの意外と知らない昆布のこと、種類や歴史、そして最新の昆布水レシピまで教えていただきます。



会場は「元・花嫁学校」のレトロビル。昭和2年(1927)に建てられた芝川ビルには、もともと「芝蘭社家政学園」という、今で言うフィニッシングスクールがあった。その4階、モダンテラスが会場。

募集要項

「イチから学ぶ、昆布塾！」

日時／2013年6月24日(月)

7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)

会場／芝川ビル モダンテラス

受講料／2,000円

定員／50名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学6月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

「中之島ふらふら青春記」
が本になった!



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

『ブラック・ジャックは遠かった』 発売記念トークショー第2弾に、中島岳志さんが登場。

インドや中国の政治思想や
「表現」をめぐる問題も。

『ブラック・ジャックは遠かった』の
発売記念イベント第2弾は、前回の浪曲
師の春野恵子さんに続き、政治学者で
ABCテレビの夕方のニュース番組「キ
ャスト!」でもおなじみの中島岳志さん
がゲスト。大阪生まれで、中之島にもよ
く来たことがあったという中島さんをお
迎えして、再び「ふらふら」トークが繰
り広げられることとなった。

ところが、ちょうど対談当日の朝日新
聞朝刊に、中島さんのインタビュー記事
が掲載されたこともあってか、2人のト
ークは中国やインドの政治思想の問題へ
と発展。「政治というリアルな問題を扱
いながらも、人間の内面を表現したい」
との中島さんの発言から、「フィクショ
ンを描くことによって、現実以上に現実
的なことを表すのが小説なんです」(久
坂部さん)と、表現をめぐる考察も。こ
の日が初対面とは思えないほど、対話は
深まっていた。

中之島や大学生活の話題も…。
予測不能のトークで盛り上がる。

後半には『ブラック・ジャックは遠か
った』の内容に合わせて、中之島での思
い出も飛び出した。小学生の時に1万円
札の図柄が聖徳太子から福沢諭吉に変
わったのをきっかけに、福沢諭吉につ
いて調べてみた中島さん。福沢が中之島
の対岸で生まれていたことを知り、石碑のあ



3月29日(金) ナカノシマ大学スペシャルトーク

「あの頃、ふらふらしてました(苦笑) Vol.2」

@中之島バンクs de sign de > cafe

ゲスト／中島岳志さん(北海道大学准教授)

るその場所を訪れ、壁新聞に書いたのだ
そうだ。「阪大の医学部や阪大病院があ
ったのも覚えています。建物が古くて、
ちょっと怖かったですね(笑)」。

10歳以上も年齢が違ふ久坂部さんと
中島さんではあったが、小説の舞台とな
った土地を訪れるのが好きなこと、画家・
青木繁に惚れ込んでいることなど、いく
つもの共通点が明らかになった。政治思
想の話題からカンニングまで、予測不能
の広がりを見せたトークに、誰もがどこ
かで胸に残るテーマを得られたはずだ。

書店にて
好評発売中!



『ブラック・ジャックは遠かった
阪大医学生ふらふら青春記』
(1,470円/140B刊)

一浪の末に名門・大阪大学医学部に合格した久
坂部青年だったが、入学後はすっかり落ちこぼれに。
授業はサボリ、試験はカンニング、暇さえあれば旅に
出て、将来は作家になりたいかった。アホで夢見がちで
貧乏で、でも根拠のない希望に満ちていた学生時代。
今や絶滅した「昭和の医学生」のふらふらぶりと純粋
さに、新鮮な感動と憧れを覚えるはず。



島民よ、 この店のことを食べろ！

第100年のバー

「堂島サンボア」。

江弘毅（本誌編集発行人）

開店すぐの午後5時に行くと、常連のお年寄り客がすでにカウンターで飲んでいて、その日は男性二人連れである。

お年寄り客と書いたが、実際にはまだまだ現役、ワイシャツにジャケット姿がパリッとしていて、近所のだこの会社の役員さんみたいであり、そのうちのお一人にこの10年ほど話す機会があつて、店でお顔を見るとわたしはいつもべこりとお辞儀をする。

あれやこれやとお二人は大きな声の大阪弁で喋っていて、「オレもあと5年やったら、我慢せんで生されるな」と聞こえた。何だか文脈を2つ飛ばしたような、とくに「我慢せんで生されるな」という言い方が、この店に長く通っている酒呑みのわたしの心に引っ掛かったのである。

サンボアは大正7年（1918）、神戸・花隈に創業していて、ユニオンジャックを簡略化したようなデザインのコースターに、「Established 1918」と書かれている。マッチ箱にもそうある。「あと5年」は100年目、2018年のことだ。

「サンボア」の名を冠したバーは今、大阪のキタとミナミに7店、京都に3店、東京銀座・数寄屋橋・



写真／浜田智則

浅草に3店あるようだが、この昭和9年（1934）開店の「堂島サンボア」が、筆頭的存在である（マッチ箱の裏には最初にこの店の名前が記されている。「我慢せんで生されるな」と聞いて、ああそうだ、と思いだしたのが、アメリカ村の生みの親であり

「ミナミのママ」と異名を取った日限萬里子さんが、このバーのことを言った言葉だ。

わたしは2005年の3月に、日限さんが痛を悪くして入院していた際に、見舞いに行ったことがある。というのもその頃、編集長をしていた『ミーツ・リージョナル』で連載原稿を頂いていたからだ。

日限さんは案外悪く、癌が全身に転移している

ということだった。わたしは病室で顔を見るや「これはちよつとしんどいな」と思ったが、日限さんは「もうちよつと生きなあかんねんけどな」などと、「おはようさん」みたいな感じで言っていた。街場のよもやま話から「堂島サンボア」が70年のパーティーをするという話になったとき、彼女は「バーもなあ、70年やったら店の通り道みたいなのがしゅーつとできてくるから、気持ちええわなあ」と言った。その言葉が日限さんの最後の言葉になった。

街場のバーの歴史は、この「サンボア」という名称が谷崎潤一郎の命名だということも、確かにその通りだと思いが、自分が客で行っていて、そこで聞いた感じたりすることこそが、その酒場のリアルな歴史だと思う。それにしてもそうか100年か、という実感がそうだ。



堂島サンボア洋酒店

創業時、中之島にあった店を現在の店の北側へ移し、昭和22年（1947）に移転。現在の店主は3代目にあたる鍵澤秀都さん。サンボアの名前を冠する店で最も伝統的かつ都会的な空気を持つ老舗。L字型のスタンディングのバー・カウンターと壁側にテール席がある。ウイスキーのダブルを氷無しで飲むハイボール（840円）はこの店の代名詞的存在。オイルサーディンサンドイッチ（1,260円）などフードもイける。☎06-6341-5368 5:00PM～11:30PM（土曜4:00PM～10:00PM） 日・祝休



→毎日新聞夕刊にて、新連載「濃い味、うす味、街のあじ。」が始まったばかり。毎月第4火曜、5月は28日（火）に掲載されます。ひとつよろしく願います。

トウニン月報

2013年5月1日発行

大阪市営地下鉄と 京阪電車の駅で スタンプラリー 開催中!



お楽しみだ。

このスタンプラリーのほか、大阪市役所の玄関ホールでは、それぞれの歴史を振り返る記念パネル展も開催中。開業当時や延伸工事風景を切り取った貴重なモノクロ写真が並ぶ。鉄道好きにはたまらないだけでなく、当時を懐かしむことができる展示になっている。

(江口由夏・本誌)

大阪市営地下鉄開業80周年& 京阪電車淀屋橋延伸50周年 スタンプラリー

期間/5月31日(金)まで

スタンプ設置場所/

大阪市営地下鉄 御堂筋線・梅田駅、心斎橋駅

京阪電車・淀屋橋駅、天満橋駅

達成賞引換場所/京阪電車淀屋橋駅事務室

問い合わせ/京阪電車お客さまセンター

☎06-6945-4560

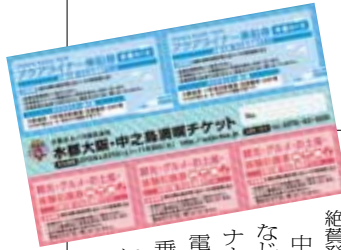
<http://www.keihan.co.jp>

大阪市営地下鉄開業80周年& 京阪電車淀屋橋延伸50周年 記念パネル展

期間/5月17日(金)まで(※平日のみ)

開催時間/9:00AM~5:30PM

場所/大阪市役所 正面玄関ホール



中之島観光ではおなじみ「アクアライナー」乗船と、京阪電車京阪線に1日乗り放題のセットになったチケット。それだけではな

絶賛発売中。

大阪水上バスの 開業30周年 記念チケット



昭和58年(1983)の就航から、今年の10月で開業30周年を迎える大阪水上バス。その節目に合わせた「水都大阪・中之島 満喫チケット」が絶賛発売中。

大阪水上バス開業30周年記念 「水都大阪・中之島 満喫チケット」

発売・有効期間/11月30日(土)まで

料金/3,000円

発売場所/大阪水上バス各港、

京阪電車淀屋橋駅を始めとする主要駅など

内容/大阪水上バス「アクアライナー」乗船券・京阪線

1日乗車券・主要な港エリアで食事や観光に使えるプレ

ミアムチケット・エリアマップ・満喫コースガイドブック

問い合わせ/大阪水上バス☎0570-03-5551

から来年にかけても盛りだくさん。水辺をテーマにしたトイイベントや、船おたく対象の「船おたくクルーズ」といった内容だ。続報を楽しみに待とう。(江口由夏・本誌)

中之島公園の景観保存がきっかけで始まった中之島まつりも、今年でなんと42回目。地元の島民を始め、京阪神の住民がゼロから立ち上げる手づくり感が人気のイベントだ。今回は「遊び」をテーマに、

子どもたちに毎年人気なのは、中之島公園の先端にある剣先公園の遊園地。手づくり



ゴールデンウィークの風物詩 中之島まつり

ダンスやチャリディングなどのパフォーマンズが繰り広げられる。昨年からは始まった「商店街カーニバル」はさらにパワーアップし、各商店街自慢のコロケを一般の観客に審査してもらったり、イメー

第42回 中之島まつり
「一遊入魂!輪っしよ!和っしよ!」
日時/5月3日(金・祝)~5日(日・祝)
10:00AM~4:00PM(5日は3:00PMまで)
※雨天決行
会場/中之島公園
入場料/無料
問い合わせ/中之島まつり実行委員会
☎06-6367-6272
<http://www.nakanoshima.net/>

感が評判の中之島まつりらしく、人力で動かす色とりどりの大型遊具が芝生に溢れている。家族そろって楽しめる温かさも中之島まつりの名物だ。(江口由夏・本誌)

イベントにいるいる 御堂筋スプリングギャラリー



タ活@御堂筋 ラク楽クッキング

御堂筋に社屋やビルを持つ企業が集う、御堂筋まちづくりネットワークが、5月9日(木)から御堂筋スプリングギャラリー2013を開催する。毎年春と秋に行われるもので、オフィスが建ち並ぶだけではなく、御堂筋の魅力のアピールする

ために、さまざまなイベントが企画されている。

誰もが聞いたことのある、あるいは前を通ったことのあるビルが会場になる。コンサートやセミナー、料理教室などその内容も多彩。日程を挙げたもの以外にも多くのイベントが予定されており、ホームページで確認することをおすすめしたい。

御堂筋スプリングギャラリー2013

期間/5月9日(木)~5月31日(金)

参加申し込みなど、詳しくは下記へ

<http://www.midosuji.biz>

【主な日程】

●「まちかどコンサート&テラス」

〈まちかどコンサート〉

5月30日(木) 12:10PM~12:55PM

◎京阪神御堂筋ビル前 ホルン6重奏

〈オープンカフェ〉5月29日(水)~31日(金)

各日11:30AM~1:00PM ◎京阪神御堂筋ビル

●「タ活@御堂筋 女性のためのウォーキングクリニック」

5月22日(水) 6:00PM~7:20PM ◎ミズノ大阪店3階イベントホール

講師:高岡よしみ(株)ファヴリオ代表取締役

●「タ活@御堂筋 ラク楽クッキング」

5月31日(金) 6:30PM~9:00PM ◎大阪ガスクッキングスクール淀屋橋

定員:24名(20歳以上の独身男女※学生不可)

●「第16回御堂筋放談」

5月27日(月) 開場5:45PM/ウェルカム演奏6:00PM~6:30PM/

放談6:30PM~7:30PM

◎パナグループビル 講師:南部靖之(パナグループ代表)

テーマ:「未来燃焼~人を活かす。新しい御堂筋オフィス」

ウェルカム演奏:パナミュージックメイト 関口梨紗(ヴァイオリン)



関口梨紗

南部靖之

中之島の西側に広がる、ほたるまちエリア。このゴールデンウィークには、ABCテレビを中心にエリア一丸となった初のビッグイベント「ABC感謝祭2013 MaiDOほたるまち」が開かれる。ABCテレビやラジオの視聴者・リスナーに向けて企画されたもので、放送局の世界を身近に感じられるものばかり。「探偵!ナイトスクープ」や「パネルクイズアタック25」といった超人気番組のセットが一堂に会するほか、セットに座ったり、「おはよう朝日」のマスコミ・



「ABC感謝祭2013 MaiDOほたるまち」

期間/5月5日(日・祝)~6日(月・休)

時間/10:00AM~5:00PM

会場/ほたるまちエリア

入場料/無料(※番組セットなど、一部有料ゾーンあり)

問い合わせ/ABCイベント事業部 ☎06-6451-8333

<http://asahi.co.jp/maidohotarumachi>

「中之島 春の文化祭2013」

期間/5月3日(金・祝)~6日(月・休)

当日券2,000円(整理番号付き自由席)

問い合わせ/ABCホール ☎06-6451-6573

<http://asahi.co.jp/abchall/event/>

おき太との記念撮影もOK。また、普段は画面の向こう側にいるアナウンサーや野球解説者によるトークショーに、アナウンサーや人気番組とのコラボロードなど、見てよし、

食べよしのゾーンもある。同日のABCホールでは恒例の「中之島の文化祭」も。注目の劇団やダンサー、芸人などによるステージを目当て

に、前売り券が毎年売り切れるこの催しだが、当日券の販売も行予定とのこと。両日とも、早めの来場が正解だ。(江口由夏・本誌)



photo: Kazuo Kawase

に、前売り券が毎年売り切れるこの催しだが、当日券の販売も行予定とのこと。両日とも、早めの来場が正解だ。(江口由夏・本誌)

「grat」の 今までもこれからの 1冊の本になった

『ようこそようこそはじまりのデザイン』

学芸出版社/1,995円



れからについて触れた最終章に注目したい。

「アイデアが生まれる状況や、エレメントとなるつながりや、ものの存在を」で表したい。『これをイベントにこういうものが生まれてきた』『この民族衣装の色の組み合わせがこんなところに反映されているんだ』など、僕らがインスピレーションを得ているものを同時に体感してもらうことで、アイデアの生まれ方も追体験できるのではと考えている(P140より)

ショップやキッチンでの新しい試みについて具体的に紹介されており、新しい「grat」の決意表明のようでも、とても楽しい。(大迫力・本誌)

華やぐ街に誘われて①

フェスティバルプラザの「大阪らしさ」をめぐる



に入れた瞬間は甘いのに、
後味は辛口。昭和22年（1947）、法善寺横丁での創業以来、クセになるこの味を守り続けてきた。当初はその辛さが敬遠されたが、食糧難の時代に始めた追加メニューの卵が人気のきっかけに。栄養価が高く、味もマイルドになると好評で、今でも半数近くの客がオーダーするそうだ。

通い始めてもう20年以上になる筆者もその一人だが、いつも食べるのはメニューにはない「メダマ」。そう言うところ飯の上に卵黄2個で、なるほど目玉のように見える。1個でも充分だが、2個なるとさらにまったり。それでも後から来る辛さはさすがとなる。

こうした注文のしかたは他にもあって、例えば「ダイタマヨコワケ」と言えば、大盛りご飯にルーを横に分けてかけ、卵をのせてくれる。「ルーダブル」と言えばルーの量が2倍。「卵、ゼンランで」は白身も入れてほしいというリクエストだ。食べ方もいろいろで、付け合わせに出てくるピクルス（キャベツの甘酢漬）さえも、前菜のように先に食べる人や最後に食べる人、かき混ぜて食べる人もいる。

これらの呼び名は、キタやミナミ、若屋や東京・丸の内にまで店を広げる歴史の中で常連客が使ってきた符丁のようなものだ。各店では、常連客の好み

「メダマ」「ヨコワケ」… 大阪人の 店コミュニケーション。 インデアンカレー

取材・文／曾東政昭



のオーダーや食べ方をほぼ把握されているとも聞いたことがある。

「食べたいように食べる」という客の気持ちと、「出来ることならなんでもします」という店のサービス精神。その両方が存在するベースが不可欠。それに加えて、「ちよつと面白く言おう」というユーモアが客にあり、「なるほど。伝わるし、面白いな」と、横で見ている客が真似をしなければ広まらない。もちろん店側にも許容してもらわねばならないから、そこに客と店両者の長い時間をかけたコミュニケーションがある。フライものやチーズをのつけて、自分の好みを追求するだけの「トッピング」とは根っこが違うのだ。

ちなみに、「卵2個入り、片方を全卵で」というのを「ウインク」などどふざけ過ぎてしまうと、店にも他の客にもスルーされることになる（実体験）。もうちよつとエエ呼び方があればなあと、いつか自分流が通用する日を夢見ているが、すべてコミュニケーション能力次第などこれも大阪的なだろう。

そつか そつか
『Meets Regional』あまから手帖「なに関西の雑誌を中心に多数執筆。街場のメシものから西日本各地へ旅取材まで、食べて書く仕事を20年以上続ける。」

祝 祭 へ よ う こ そ。



<http://festivalplaza.jp/>

提供／株式会社 朝日ビルディング



インデアンカレー 中之島フェスティバルプラザ店

●フェスティバルプラザB1F

大理石のカウンター席に着いて注文するや、ルーをサラリとかけて目の前にカレーが現れる。そのスピード感も大阪の店らしい。カレーライス730円、卵50円。写真の「目玉」こと卵2個入りは830円。ハヤシライス(600円)やカレースパゲッティ(700円)などもある。☎06-6202-5213 11:00AM～11:00PM(LO10:30PM) 不定休

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／カペラ書店／紀伊国屋書店 本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ジュンク堂書店 天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／スタンダードブックストア／天牛坂書店 大江橋店／ブックファースト 梅田店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立中央図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪フィルハーモニー会館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大坂リバーサイドキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町
- [店舗・医院など] アリアスカー マーブルトレ／アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前料理 志津町／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／大西洋服店／000(オー)／カセッタ／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／グランドスイート中之島／黒門さかえ／コモカフ／サウワ花店 中之島本店／ザ・メロディ／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／ティーハウスズジカ／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナジヤ／バスターレー／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルニアカフェ／フレムハウス／ミニロー／宮崎歯科／やきとり ばかや／吉田理容所／ラクカーニャ／LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 伊勢屋書店／大阪書店／紀伊国屋書店 京橋店／なんばミヤタ／福島書店／柳々堂／ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立図書館 [店舗・医院など] あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパール／大阪市信用金庫 江戸堀支店／御船かもめ／Calo Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワンナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂 フレスト店／Books 呼文堂／水嶋書房 くずはモール店／水嶋書房 くずは駅店／大阪狭山市立図書館／大阪大学企画広報・学芸連携事務室／大阪大学 21世紀徳徳堂／大阪大学本部／寝屋川市役所／摂南大学 地域連携センター／郵政考古学会／ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／大手通リストリットギャラリー 街・発信／納屋工房／タバーン・シン普森／百練／奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 川の話と生きものたち。

毎日見ているはずなのに、その実態を意外と知らない中之島の川のこと。
水質やそこに棲息している生きものなど、イチからご紹介します。

●『月刊島民』vol.59は2013年6月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社



うーんと楽しむのが、
お作法です。

中之島けい子
寺島屋彌兵衛商店

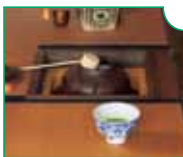
お茶に挑戦！
チャレンジ！
おけいはん

おけいはん、 宇治でお茶を知る

京阪電車にのって、日本が誇る宇治茶のまちへ。



おけいはん。
京阪の
人。



◆中村藤吉本店
名茶室で“濃い”茶体験



◆寺島屋彌兵衛商店
お試しの一服に感激



◆福寿園 宇治茶工房
石臼で感じる茶の深さ

おけいはんが宇治で、
お茶めぐりに挑戦！
実況ムービーや
エリア紹介マップを
web上でご紹介!!

Facebook @c_okeihan

チャレンジおけいはん 検索

